

未来をデザインする力を育む宇都宮大学へ

— 学生がとちぎの高齢社会を学ぶ意味 —

日時：平成26年

1月10日(金)

13:30～16:00

会 場：宇都宮大学 峰キャンパス
大学会館 2F多目的ホール

参加対象：どなたでもご参加いただけます！

来賓挨拶

文部科学大臣政務官

上野 通子 氏

基調提言

下野新聞社編集局長

飯島 一彦 氏

シンポジウム

シンポジスト

下野新聞社社会部記者

山崎 一洋 氏

つるかめ診療所副所長

鶴岡 優子 氏

宇都宮大学 副学長

茅野 甚治郎

コーディネーター

地域連携教育研究センター 廣瀬 隆人

人間、生きていればいつかは必ず『老い』ってやつが、やってきます。

文部科学省・平成25年度地(知)の拠点整備事業において、宇都宮大学の「とちぎの高齢者共生社会を支える異世代との協働による人材育成」事業が採択されました。

本事業は、宇都宮大学が地域とつながり、新しい課題に立ち向かっていく人材を育成しようとするものです。

終章学...それは、未来の宝物

参加費無料です！まずは一步を踏み出しましょう！